

合併のお知らせ

この度、新栄信用組合とさくらの街信用組合は、2019年12月を目処に、対等の立場で合併することで基本合意いたしました。

両信用組合は創立以来、其々の営業基盤において、信用組合の理念である相互扶助の精神に基づき、地域の中小企業や小規模事業者、個人の皆様方への円滑な資金供給、金融サービスの提供に真摯に取り組み、地元経済の発展に努め、貢献してまいりました。

こうした共通の使命を持つ2つの信用組合が、各々の営業基盤と経営資源とを統合することで地域金融機関としての総合力を一層強化し、地域における中小企業や小規模事業者、地域の皆様方への円滑な資金供給や、積極的なコンサルティング機能の発揮、組合員をはじめとする地域のお客様のより多様かつ高度な金融ニーズにお応えすべく、合併に向け協議してまいりました。

この合併により、両組合が有する経営資源を有効に活用し、地域への円滑な資金供給と質の高い金融サービスの提供に取り組むことによって、地域経済の活性化や個人の皆様方の生活向上に貢献できるものと考えております。

今後は、順次所定の手続きを進め、より皆様に信頼されご期待に沿える信用組合を目指し、役職員一丸となって努力していく所存でございますので、何卒、ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

なお、詳しくは、「合併趣意書」および「合併の基本事項」をご高覧いただきますようお願い申し上げます。

2019年 1月18日

新栄信用組合 理事長 赤塚 義廣
さくらの街信用組合 理事長 長谷川 信一

合 併 趣 意 書

この度、新栄信用組合とさくらの街信用組合は、2019年12月を目処に、対等の立場で合併することで基本的に合意し、本日両組合の間で「合併基本協定書」を締結致しました。

両信用組合は創立以来、其々の営業基盤において、信用組合の理念である相互扶助の精神に基づき、地域の中小企業や小規模事業者、個人の皆様方への円滑な資金供給、金融サービスの提供に真摯に取り組み、地元経済の発展に努め、貢献してまいりました。

しかしながら、金融機関を取り巻く経営環境は、市場環境の変化や少子高齢化と人口減少が進行する中、将来的な市場規模の縮小が危惧されており、また地方銀行においても経営統合が行われるなど、先行き不透明な状況となっております。

このような経営環境下において、より一層地域のお客様に信頼され、真に地域に必要とされる金融機関となるためには、両組合が合併し、これまで其々の信用組合が培ってきたノウハウや強みを活かして、強固な経営基盤を構築することが最善の方策であるとの認識で一致しました。

この合併により、両組合が有する経営資源を有効に活用し、地域への円滑な資金供給と質の高い金融サービスの提供に取り組むことによって、地域経済の活性化や個人の皆様方の生活向上に貢献できるものと考えております。

また、人材の有効活用や事務コストを中心とした効率化等によって経営体質の強化を図り、多様化・高度化するお客様の要望に的確にお応えできる信用組合を目指してまいります。

今後は、更に合併への協議を重ね、順次所定の手続きを進めながら、組合員・お取引先をはじめ、関係機関からのご協力を賜り、一日も早く合併の効果が発揮できるよう、役職員一同一丸となって努力して参る所存でございます。

何卒、本合併の趣旨をご理解いただき、ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2019年 1月18日

新 栄 信 用 組 合
理 事 長 赤 塚 義 廣

さくらの街信用組合
理 事 長 長 谷 川 信 一

合併の基本事項

1. 合併期日 2019年12月を目処とする。
2. 合併の方法 対等合併とし、合併の手続き上、新栄信用組合を存続信用組合とする。
3. 名称 2019年6月開催予定の通常総代会までに決定する。
4. 合併後の本店・本部 現 新栄信用組合本店・本部に置く。
5. 合併後の役員 2019年6月開催予定の通常総代会までに、協議のうえ決定する。
6. その他合併主要事項
 - (1) 合併信用組合の出資 合併比率は対等とし、出資1口の金額は500円とする。
 - (2) 合併の効力 2019年6月開催予定の通常総代会の決議および関東財務局長の認可を条件とする。
 - (3) 合併準備委員会 合併に関する細目を協議するため、合併準備委員会を設立する。

7. 両信用組合の概要（計数については、2018年3月末現在）

	新栄信用組合	さくらの街信用組合	合計
本店所在地	新潟市江南区旭2丁目1番2号	阿賀野市中央町1丁目9番1号	
本部所在地	同上	五泉市吉沢2丁目1番30号	
理事長	赤塚 義廣	長谷川 信一	
預金	56,823百万円	52,218百万円	109,041百万円
貸出金	35,350百万円	28,366百万円	63,716百万円
預貸率	62.21%	54.32%	58.43%
自己資本比率	7.81%	6.64%	7.26%
普通出資金	779百万円	660百万円	1,439百万円
優先出資金	490百万円	—	490百万円
組合員数	16,241名	19,580名	35,821名
総定数	135名	110名	
役員数	72名	82名	154名
店舗数	8店舗	8店舗	16店舗

※「合計」は、2018年3末日時点の両信用組合の係数を単純合算したものです。

8. 沿革

新栄信用組合	さくらの街信用組合
*昭和28年9月 亀田信用組合として設立 *昭和45年10月 新栄信用組合に改称 *昭和63年4月 新潟産業信用組合と合併 *平成30年11月 東堀支店を馬越支店に店舗を統合し、店舗数7店舗とする *現在に至る	【太陽信用組合】 *昭和29年7月 水原郷信用組合として設立 *昭和50年4月 太陽信用組合に改称 【五泉信用組合】 *昭和36年11月 五泉信用組合として設立 【さくらの街信用組合】 *平成26年7月 五泉信用組合と太陽信用組合が対等合併し、さくらの街信用組合として設立 *平成30年11月 笹神支店を本店、本町支店を五泉支店にそれぞれ店舗を統合し、店舗数6店舗とする *現在に至る

9. 営業地域

新栄信用組合	さくらの街信用組合
*新潟市（江南区・中央区・東区・西区（旧黒埼町除く）・北区・秋葉区（旧小須戸町除く））、阿賀野市のうち旧京ヶ瀬村、北蒲原郡聖籠町	*阿賀野市、五泉市、東蒲原郡阿賀町、新潟市のうち北区・秋葉区、新発田市のうち旧豊浦町、北蒲原郡聖籠町